



独立行政法人福祉医療機構  
山丹丹助成 社会福祉振興助成事業

WAM 2019 年度 事業報告

# 多文化子育て

応援ネットワークづくり



NPO 法人 シェイクハンズ

## 目次

目次	.....	1P
はじめに	.....	2P
<b>柱立て1</b>	<b>日本語・学習支援の場「寺子屋」</b>	<b>..... 3P</b>
成果と課題	.....	4P~5P
<b>柱立て2</b>	<b>多文化子育て「にじいろサロン」</b>	<b>..... 6P</b>
犬山市及び近郊の子育て親子の状況	.....	7P ~ 8P
犬山市内でのにじいろ子育てサロン	.....	9P ~ 10P
江南市内でのにじいろ子育てサロン	.....	11P~12P
大口・小牧市内でのにじいろ子育てサロン	.....	13P~14P
成果と課題	.....	15P~16P
託児について	.....	17P
<b>柱立て3</b>	<b>尾張北部地域多文化子育てネットワークづくり</b>	<b>..... 18P~19P</b>
成果と課題	.....	20P
事業を終えて	.....	21~22P

## はじめに

私たちは、これまで犬山市の南部地域で、外国人を中心にひとり親家庭・多様な困難を抱える家庭の子育てや教育を応援して参りました。

近年では南部地域に留まらず、市内全域の小中学校にも外国に繋がる子ども達の在籍が目立ち、中心市街地でも様々な困難を抱える子ども達が急増してきました。

特に外国に繋がる子どもには、学齢期に至るまでの日本語環境・生活環境に問題があり、小学校入学時に、特に言語・精神面の発達にもすでに格差がついてしまい、学校生活の入り口でのつまずき、その後の長い学校生活に影響を及ぼす現実があります。

加えて、多くの子育て支援策があるなか、情報が届かないことにより、セフティネットから洩れてしまいがちな現実もあります。社会からの孤立・情報の不足・日本語習得不足などを補い、安心して子育てできる環境・安定した教育環境が得られるよう、サポートの必要性を強く感じています。

また、日本の親子もそれぞれに困難を抱えていて、国籍等に関係なく、互いに助け合いができる子育て環境づくりが大切と、認識して以下の事業を実施させていただきました。

柱立て1	日本語・学習支援の場「寺子屋」
柱立て2	多文化子育て「にじいろサロン」
柱立て3	尾張北部地域多文化子育てネットワークづくり

ここに事業報告として、本冊子を刊行させていただきます。

2020年3月末日





### 事業概要

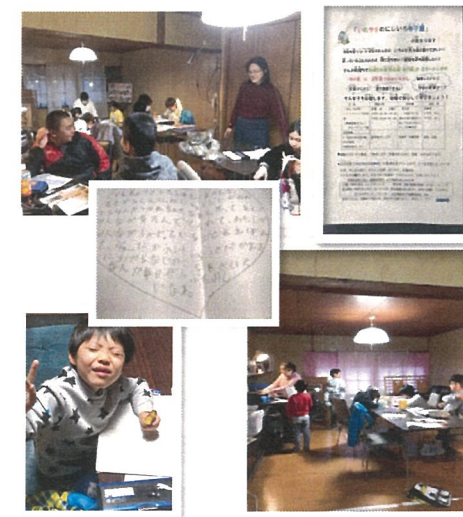
外国に繋がる子どもや困難を抱える子ども達（次年度就学時～中学生）に、日本語支援・学習支援等を行い、居場所をつくるために、定期的に日本語や学習支援、体験の場をつくり、体験活動も実施。

- 実施日時 : 2019年 5月26日～2020年 3月下旬までの  
毎週水曜日・土曜日 放課後～21時
- 実施回数 : 全76回
- 実施場所 : 犬山の寺子屋（犬山市大字犬山字東古券）  
当法人の事務所 2階（空きスペース）
- 対象者 : 犬山及び近郊の外国に繋がる子ども達、  
経済的などの困難を抱える子ども達
- 参加者 : 23名（日本人20名 外国に繋がる子3名）  
（小学生 9名 中学生14名）  
犬山市在住の子 21名（日本人18名 外国に繋がる子3名）  
その他地域 2名（大口町1名 扶桑町1名）
- 指導者 : 専従指導者2名 指導補助ボランティア2名  
他に随時ボランティア

### 成果と課題

ほぼ犬山市在住の子ども達の参加に留まった感はあるが、登録参加した子ども達は、欠席も少なくアットホームな雰囲気なかで、学習できた。

募集に際しては、教頭会において事業説明ができ、犬山市の全小中学校にチラシ配布ができたが、申し込み者は23人に留まった。なかで、本人の同意が得られないとの事で1名が不参加となり、途中1名が転居となってしまった。



通常の学習時間

10月に一般公募の子ども達と共に、「多文化体験キャンプ」に参加したり、子ども食堂において地域住民ともふれあいの機会を持つこともできた。外国に繋がる子どもの参加が少なかったのは、保護者の勤務の時間帯の都合や、夜勤・長時間労働が中心市街地である犬山地区への送迎がネックになったと、思われる。（同法人が犬山市の集住地域で行っている日本語教室への参加が多く見られた）小学生16時～18時、中学生18時30分～21時の時間帯で、送迎ができる保護者が限られているのが現状。



多文化体験キャンプ (10/13.14)



国際交流フェスタでの体験(8/25)



地域での交流会(12/22)



## 柱立て1 日本語・学習支援の場 「寺子屋」

### 成果として

- 1 ほとんどの参加者が欠席する事なく、出席率は、90%以上だった。  
特に中学生は、定期試験が終わっても、休むことなく通塾でき、苦手教科克服に向けて努力できた。
- 2 外国に繋がる中学2年生が、日本語能力検定N2（2級）に合格。
- 3 公立高校を目指した中学3年生が、希望校に合格できた。（出席率100%）
- 4 通級学級の小学生には、マンツーマンで指導経験者が担当でき、宿題の提出率が90%以上だったと、学校からの報告があった。
- 5 送迎時、保護者と会話を心掛けた結果、家庭の実情や親としての困りごとなどを相談していただける保護者もあり、親子共に、関係性を築く事ができた。  
特に学習に対する課題としては、宿題をクリアするだけで精一杯な状況の子がほとんどなので、苦手教科を克服できるまでの支援ができなかった。  
一方、学校側も貧困等による学力低下を課題としていて、独自の学習支援プログラムを持つ中学校も増えてきたが、参加率が少なく、今後、教育委員会と情報共有し、協働できるような策が得られると効果的だと感じる。

## 柱立て2 多文化子育て「にじいろサロン」



### 事業概要

主に外国に繋がる乳幼児を持つ家庭、困難を抱える親子のサロンを尾張北部地域の多様な団体と協働して連続開催し、情報の共有、教育を含めた子育て支援の場とした。日本人親子も参加でき、多文化子育て支援として、国籍・民族・文化の違いを超え、助け合える関係性ができるよう、願っての開催。

- ①尾張北部の3市2町（小牧市、江南市、犬山市、扶桑町、大口町）の地域を持ってまわりで、テーマを決めて開催する。
  - ②子育て支援情報を共有しながら、料理や読み聞かせなどの体験活動もし、外国人と日本人、互いに顔の見える関係性を作り、助け合える関係性を作る。
- 実施日時 : 2019年 7月13日～2020年 3月1日までの 日曜日
- 実施回数 : 全15回
- 実施場所 : 楽田ふれあいセンター(犬山市)、寺子屋シェイクハンズ(犬山市)、江南市国際交流協会多文化プラザ、大口町健康文化センター、味岡市民センター(小牧市)
- 対象者 : 各市町、近郊に住む外国につながる乳幼児を持つ家庭・親子、困難を抱える親子



犬山市及び近郊の子育て親子の状況

数年前までは、犬山市南部の外国人集住地域にある2つの公立子ども未来園(保育園)に、在籍が集中していたが、現在では14保育園の内、12園に在園(図1)が広がっている。

園側は生活習慣や子育ての方法の違い、情報の伝達に苦慮している。

また、保健センターでも定期健・予防接種などの伝達や意志疎通にも困っている。

外国人散在地域であるので、通訳・翻訳などの予算も現時点ではなく、

ボランティア頼みで、凌いでいる状況。

各市町で開催している「0歳～3歳の親子教室」「1.2.3.催事の母親教室」

などへの参加者も、現在までは、外国籍の参加は無い状態。ファミリーサポートの利用状況も0という状態。

何よりも、母国と違う子育て環境のなかで外国人保護者自身が、何が重要で、

どんな情報が必要かもわからず、不安を抱え、子育てしている状態といえる。

同国人同士のネットワークの中でしか生活していない人が多く、社会と繋がっていないところで子育てをしているのが、現状。

近隣市町も同じような状況のなか、子育て支援・外国人支援団体が行政区を越えて、協働し、多文化背景のもとで子育てをしている親子と日本の親子を日常的に繋げ、安心して子育てができる環境づくりの一步をふみだした。

(図1)犬山市の公立保育園児の状況と、外国籍園児

犬山市の外国に繋がる乳幼児(令和元年10月、犬山市子ども未来課調べ)										
	フィリピン	ペルー	中国	ブラジル	チェコ	アメリカ	ボリビア	ベトナム	エクアドル	合計
五郎丸				1		1				2
上木			1	1	2					4
橋爪			1	1				1		3
丸山			1					1		2
羽黒	6	1	1	1					3	12
羽黒北	2			3				1		6
羽黒南	1	1	2	1						5
楽田	3	5	2	3			2	1		16
楽田東		1								1
楽田西		6		1				1		8
城東										0
城東2	1			1						2
合計	13	14	8	13	2	1	2	5	3	61

(図2)尾張北部地域における外国人児童生徒数(令和元年度)

市町名	小学生	中学生	計
犬山市	68	39	107
小牧市	541	223	764
江南市	77	32	109
扶桑町	6	3	9
大口町	14	6	20
合計	706	303	1009

令和元年5/1 文部科学省「学校基本調査」による愛知県の数値より



犬山市内でのにじいろ子育てサロン

日時	内容	会場	参加組
7月13日(日) 13:30~	はらぺこあおむしを 作ろう!	楽田ふれあい センター	外国 14 日本 6
9月15日(日) 10:00~13:00	たのしいクッキング!	楽田ふれあい センター	外国 13 日本 8
10月20日(日) 10:30~12:00	手づくりおもちゃを 作って遊ぼう!	楽田ふれあい センター	外国 7 日本 5
11月17日(日) 13:00~15:30	木のおもちゃで あそぼう!	犬山市南部 公民館	外国 8 日本 5
12月8日(日) 10:30~13:00	世界のクリスマスや 外国の紙芝居を たのしみましょう!	楽田ふれあい センター	外国 14 日本 7
1月19日(日) 10:30~12:30	子どもと一緒に リズム遊び	楽田ふれあい センター	外国 12 日本 8

協働団体

- ・ ・ ・ 江南市国際交流協会ふくらの家、  
おもちゃ図書館まごころ  
クリスティと仲間たち、NPO 法人にわたりの会、  
犬山市保健センター、麗花尾北子育て支援サロン、  
ペルー人ママの会



スタッフの声

まず、日本人のママたちの参加が多いのに、驚きました。  
元気ではずかしているママたちも回を重ねるごとに、子育ての不安やここに参加した動機なども話してくれるようになり、子育てに、外国人も日本人もないと、本当に感じました。  
ただ、外国に繋がる親子は、ことばの壁が決定的。情報や必要な知識も伝わる環境にない。  
制度が整うには、時間がかかりすぎる中、その間も子どもの成長は、待っててくれない。  
母子にとって、この瞬間の時間は、二度と来ない! そう思うと、少しでも地域の人同士、助け合う中での情報の伝達が、私たちのできる事では? と、思いを新たに「サロンを続けていきたい!」と、感じました。  
「やはりお茶や食事を一緒にすることは、いい!!」と素直に感じました。

(シェイクハンズ 齋藤千春)

参加者の声

サロンでは、色々な国のお友達に出会って、子ども私も楽しかったです。一番良かったのは、使った後のミルクパックで、動かす人形でトーマスをつくった事、うちの子はトーマス大好き!遊んだり、今でもトーマスは、飾っています。  
サロンに通って、子どもと一緒に楽しい時間は、増えていきました。さらにいろんな国の友達が増えて、話も出来て、うれしかったです。  
もっといろんな異国の友達に出会えること、これからも楽しみにしています。ぜひ、またやって下さい。

中国:周馨麗、涼誠



江南市内でのにじいろ子育てサロン

日時	内容	会場	参加組
8月27日(火) 10:00	オリジナルフォト フレームを作ろう!	多文化プラザ	外国 6 日本 3
9月24日(火) 10:00	ベトナムってどんな国? 紙芝居とベトナム紹介	多文化プラザ	外国 9 日本 4
10月29日(火) 10:00	ハロウィンを楽しもう! 芯を使って工作しよう かぼちゃのおやつあり	多文化プラザ	外国 7 日本 4
11月12日(火) 10:00	大好きなはらぺこ あおむしをつくろう! 軽食タイム	多文化プラザ	外国 7 日本 5
12月17日(火) 10:00	ブラジルってどんな国? 紙芝居とブラジル紹介 軽食タイム	多文化プラザ	外国 8 日本 5

協働団体・・・江南市国際交流協会、ふくらの家、  
犬山レーション指導者クラブ



スタッフの声

まず、日本人のママたちの参加が多いのに、驚きました。元気で子育て中のママ・パパにとって、子育ての楽しさや不安は日本人も外国人も同じです。楽しい時間を一緒に過ごし、何かを一緒に作り、一緒に食べて、お喋りをする・・・そんな機会をみんなで作ってきました。

「ベトナムってどんな国」「ブラジルってどんな国」では「母国の昔話」を日本語と母国の言葉で話し、挨拶のしかたなどいろいろな文化の違いのあることに関心を持ったようです。

また、みんなで一緒に物づくりをする事で、連帯意識が高まり、できた作品を使って親子で遊ぶ姿も見られました。

軽食タイムには、お国自慢のデザートや料理など持ちよったり、スタッフの心づくしの料理など普段は、子育てで精いっぱいママたちの一息つく場になったようです。今後も子育てサロンが楽しみです。

また、協働できたお陰で、プログラムに広がりが出て、本当に良かったです。

(江南市国際交流協会ふくらの家：早瀬裕子)



大口・小牧市でのにじいろ子育てサロンの

日時	内容	会場	参加組
2月2日(日) 10:00~15:00	友だちになろう! いろんな遊びを一緒に にしよう!	大口町老人福祉 センター	外国 9 日本 3
2月22日(土)	日本の学校のこと、 考えよう!	寺子屋 シェイクハンズ	外国 6 日本 4
2月16日(日) 10:30~	クイリングを体験しよう! 子育てお話しタイム	味噌市民センター	外国 5 日本 3
3月8日(日) 10:30~	災害から子どもを守ろう! 防災の話と防災食試	寺子屋 シェイクハンズ	外国 7 日本 4

\* 10月12日(土) 「命のはなし」・・・台風のため、中止

\* 3月22日(日) 親子でズンバ!・・・新型コロナの為、中止

協働団体

・・・大口町多文化共生レインボー、サラダボールCO  
NPO 法人子ども文化の森、愛知淑徳大学小島ゼミ  
一色コスモスサポートの会、INFC 日本語教室  
大城児童館、



クイリング



防災の話



教育ガイダンス



スタッフの声

日ごろ日本で生活しながら、子育てについて、あまり話合ったり、相談したりすることが少ない中で、今回のように自分達が悩んでいることや心配など、クイリングを通し体験を通して話し合える事ができて、良かったと、思います。

文化の違いや子育てに対する考え方の違いなど、多々ありますが、このようなサロンは、必要だと思います。今後も一緒に、取組んでいけたら、と、思っています。

何よりもママたちが楽しそうでした。小牧と犬山から参加があり、良かったです。

(一色コスモスサポートの会 平坂礼子)

参加者の声

日本人の人たちと「クイリング」というものをやりました。とてもかわいいものができました。子ども達もよるこんでいました。

終わった後、子育てや心配な事などを話し、色々たのしかったです。また、やりたいです。

(ブラジル籍 宮地レイジ、アユイ ケンジ親子)



成果と課題

協働団体どの地域も日本人・外国人共に多くの参加があり、楽しい場・安心の場が提供でき、とても良かった。

無理のない連続講座にしたので、連続しての参加も多く、仲良くなる組も数組でき、最後には外国人親子・日本人親子が誘い合わせて、乗り合せて参加するなどの光景が見られたのが、何よりの成果で、普段の生活につなげる事が出来た。

日本人保護者は、情報というより、ママ自身の気分転換や友だち探しなどで、参加する傾向が多く、外国人は、誘われての参加が多かったが、楽しい雰囲気誘われ、また、同国人をさそってくる事も多くあった。特に犬山での開催には、パパの参加も目立ち、パパの参加があるときは、子どもやママたちも安心できるせいか、より和やかな雰囲気だったと感じた。

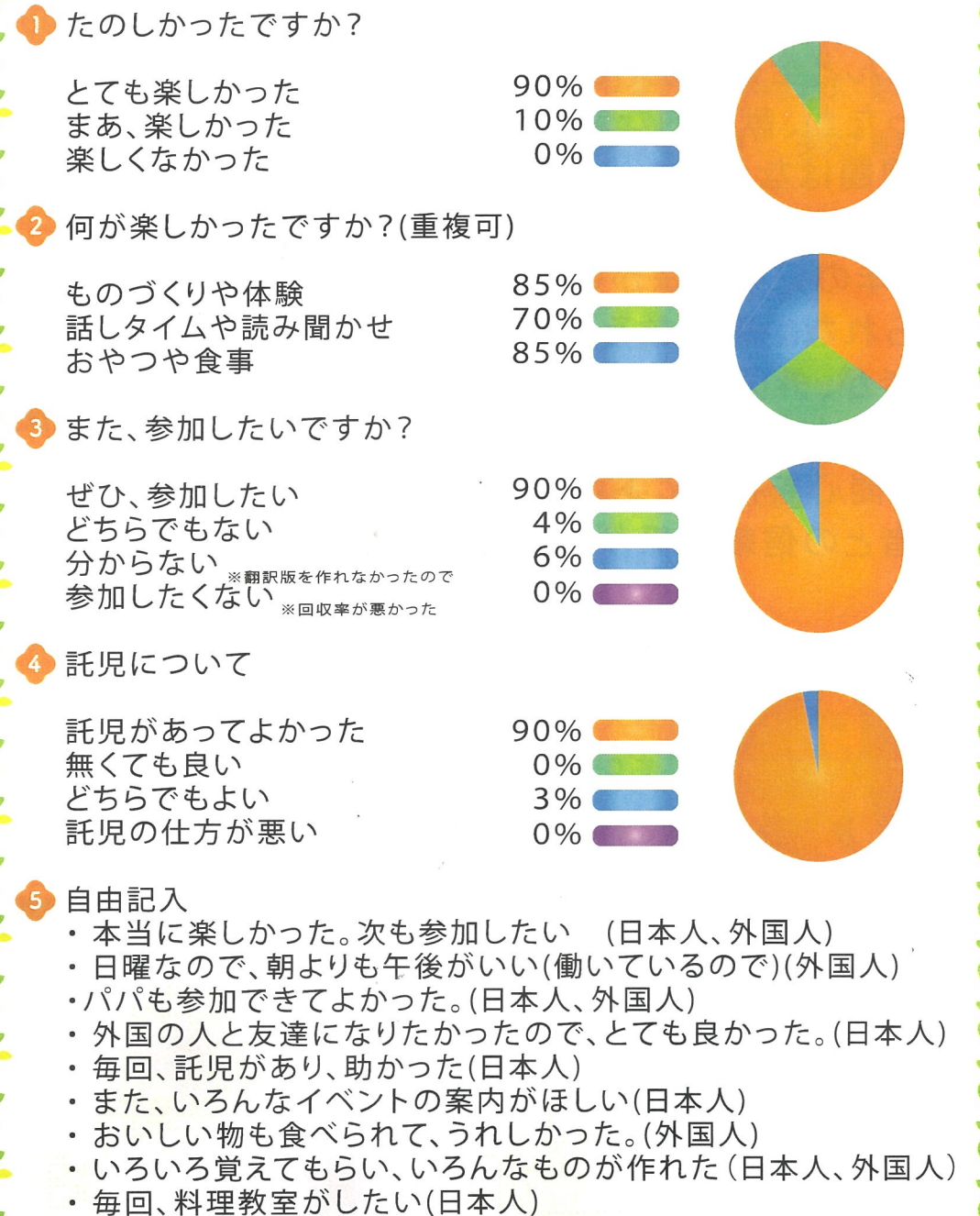
モノづくりなどが終わった後のお話タイムでは、グループごとの話が盛り上がり、「次回は、〇〇したい」「〇〇が知りたい！」などの提案も見られた。

課題としては、やはり時間を守る事ができず、終了時間が大幅に遅れる事が多かった。また人数について、15組以上の参加となると、安全面などにも不安が出てきた事が多かった。特に外国人は、申し込み制でも、当日参加も多く、数が読めないのが、準備の都合上、大変だった。

ネットワークの力もあり、予想を上回る成果が出たと思うので、ぜひ、継続していきたい。今後、もっと行政を巻き込んでいきたい。

そして、特に就学前の外国人の子育て環境を良くし、言葉の問題も含めて、日本での長い教育のスタートラインを押し上げていきたい。

アンケート結果 (日本人65%、外国人回収率40%)





## 託児について

ほとんど全回、託児を設けた。企画上、同室見守り託児の形だったが、献身的な託児をしていただいたので、ほぼ問題はなかった。

託児者から一点だけ不安が残ったとの報告があった。「低学年の兄弟姉妹がいる場合、同室なので、危ない行為を止められない事もあるので、不安だった」との報告。

託児者が、外国人の子どもに、ことば遊びを考えるなど、積極的に対応して下さった。託児者が、多文化理解に、とても関心を持って下さった。

託児者との信頼関係が築けた事が、とても良かった。



## 事業概要

主に外国人親子が抱える困難の解消を図り、安定した子育ての実現のために、尾張北部3市2町の外国人支援・日本語教育機関・子育て支援団体などが、定期的な情報交換や会議の機会を持ち、ネットワークづくりをする事で、多文化背景にある親子・家庭へのサポートを強化。

実施日時： 6/20、21、8/28、9/27、10/30、1/15、2/15(全6回)

実施場所： 寺子屋シェイクハンズ(当団体の多文化共生の拠点)

対象者： 尾張北部地域 3市2町の多文化共生・外国人支援、子育て支援団体、行政関係部局、など

参加者： 20名

NPO法人にわたりの会、一色コスモスサポートの会、大城児童センター(NPO法人 10人村)、江南市国際交流協会ふくらの家、NPO法人子どもと文化の森、江南市立宮田中学校日本語担当教諭、サラダボールカンパニー、大口町日本語教室セレジャカフェ、犬山市国際交流協会日本語教室、同事務局長、橋中ちびっこクラブ、名古屋経済大学国際交流室、犬山市観光交流課担当官、犬山市子ども未来課、犬山市子育て相談員、託児グループてんとうむし、楽田地区コミュニティ推進協議会、NPO法人犬山市民活動支援センターの会、アドバイザー/松本一子(愛知淑徳大学非常勤講師) 米勢治子(東海日本語ネットワーク副代表)

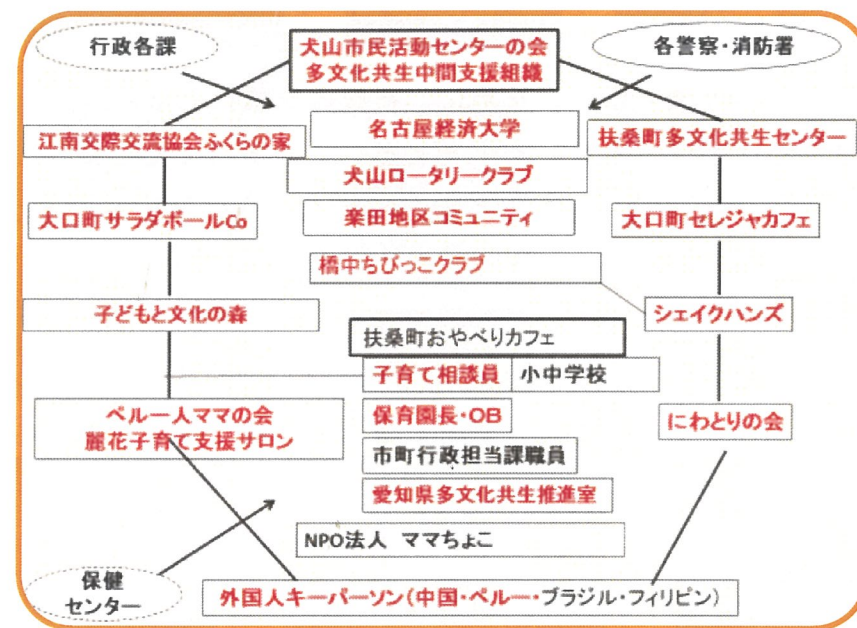


日時	内容	参加団体数	備考
6月20日	①ネットワークの説明 ②本事業の説明 ③自団体紹介 ④本ネットワークへの希望	外国人支援団体 5名 子育て関係 1名 (計6名)	
6月21日	①ネットワークの説明 ②本事業の説明 ③自己紹介 ④本ネットワークへの希望 ⑤次回からの運営について ⑥シェイクハンズより、 第1回子育てサロン企画について	外国人支援 10名 子育て支援団体 3名 中間支援団体他 3名 (計16名)	特に自団体の自己紹介をお願いし、まず、メンバーを知る事を <日程調整が難しく、初回の事もあり、連続二日での開催>
9月21日	①ネットワークによる 子育てサロンの運営について【子どもと文化の森が、近く開催の行事について。子育てサロンとして、協働を申し出。ふくらの家が、5回シリーズで、協働を申し出】 ②自団体での話題提供【ふくらの家が、多言語化紙芝居イベントを報告 一色コスモスサポートが事外国人事例支援の事例紹介、宮田中学事例紹介】 ③第1回多文化子育てサロン開催の報告	外国人支援 10名 子育て支援団体 4名 (計14名)	①ふくらの家、子どもと文化の森、橋中クラブが同意
10月30日	①子育てサロン報告 ②2回目以降のシリーズ化についてと進捗。 ③ふくらの家との協働企画(江南)について。アドバイザーより助言 ④A I A事業アピール、サラダボールより子ども支援事業について	外国人支援 13名 子育て支援 4名 その他 3名 (計20名 サラダ)	
1月15日	①ネットワーク会議のあり方【小牧・扶桑の更なる巻き込みについて】 ②子育てサロン進捗報告と小牧での協働。	外国人支援 11名 子育て支援 3名 その他 2名 (計16名)	
2月15日	①子育てサロンの進捗と予定について【小牧での協働企画について】 ②来年度のネットワークとその会議の在り方について【ネットワークは有意義なので、多分野にも拡充を!】	外国人支援 12名 子育て支援 4名 その他 2名 (計18名)	



成果と課題

構築できたネットワーク団体 (多文化共生 + 子育て支援)



※赤字の団体は、いままで、ネットワーク会議に出席だが、黒字の団体は、まだ、ネットワーク会議に不参加

※まだ、存在を知らない団体(特に子育て支援)を調査し、このネットワークに入って貰えるように、呼びかけをしたい。

これまでのつながりや今回の呼びかけで、多くの団体にネットワーク会議を構成していただく事が出来、この成果は本当に大きいと感じます。行政区を越えての情報交換・共有は、外国人散在地域の施策の違い、各市町に住む外国人の様子や子育て環境の違い等を互いが把握でき、活動に反映できることを学びました。また、多文化子育てサロンを実際にいくつかの団体と、協働できた事も結びつきを強いものにしました。最終のネットワーク会議では、来年度に向けてひとつの異議もなく、継続していくことが決定しました。団体数が増えるに従い日程調整などの困難や、立場の違いからいつも企画に参加できるとは、限らなくなると想像しますが、緩やかでしなやかなつながりを継続していきます。まだ、繋がっていない団体・ネットワークから外れた団体もあります。次年度は、それ団体、行政や企業なども巻き込みつつ活動し、外国人も日本人も関係なく、子育てや生活環境を良くしていきたいと願います。



## 事業を終えて

私どもは、長年、外国に繋がる子ども達へ、日本語指導の活動をして参りました。

小学生から中学生へと支援の幅を広げても、なかなか成果に結び着かない状況に、幼少期の言葉の発達や就学前の子育て環境が、大切では！と。また、外国人集住地域ではないために、行政の施策にもばらつきがあり、市町を越えての支援ができないか！とも感じ、本事業に及びました。

新しい地域で実施した学習支援では、外国に繋がる子とはまた別な困難さを持つ子ども達と出会い、さまざまなニーズに実際に出会いました。子育てサロンでは、地域の身近な居場所が本当に重要だと実感できました。単年度の事業では、まだまだ解決ができない状況と振り返り、ネットワーク団体全員一致で、次年度以降も引き継ぐ事を決定する事も出来ました。

ただ、NPO/ボランティア団体の運営の弱みである資金調達に関しては、まだまだ努力を重ねなければなりません。助成金頼みだけでなく、行政や企業や地域に、もっとアピールする必要性も感じました。本年度末、新型コロナウイルス蔓延による危機のため報告会が実行できずその機会が得られなかった事は、誠に残念です。

その思いを本冊子に変えて、多くの方に読んで頂きご理解を得られれば！と、存じます。

そして、「とにかく、継続していかなければ成果はない！」

当たり前ですが、この大きな気づきを大切に、続けていきます。

最後に、独立行政法人福祉医療機構の助成のもと、本事業の為に手を繋いで下さった多くの団体、関係者のみなさんに感謝いたします。

そしてまた、継続に向けてお力添えを今後ともよろしくお願い申し上げます。

令和2年3月末日

特定非営利活動法人シェイクハンズ





応援ネットワークづくり



NPO 法人 シェイクハンズ

特定非営利活動法人 シェイクハンズ  
犬山市犬山東古券70-2